

壁紙施工要領書

- 織物壁紙 3 -

【該当品番】 (2024- Lilycolor MATERIALS)

LMT-16090～16092

■ 特長

- ・絹を使用した織物壁紙です。

■ 下地調整

- ・施工後の下地の不陸の目立ちを避けるために、下地面はできるだけ平滑に仕上げるようにしてください。
- ・下地面に汚れやチョーク等による文字などが残っている場合は、除去するようにしてください。
- ・パテは下地と同色のものを使用するようにしてください。
- ・貼り替えの際、裏打ち紙が下地面に浮いた状態で残っている場合は、必ず剥がしたあと施工するようにしてください。浮いた所の上で施工しますと目開きの原因になります。

※詳しくは、施工上のご注意の共通事項をご確認ください。

■ 接着剤

- ・糊付け機を使用しての糊付けは可能です。
- ・接着剤は原液タイプをお薦めします。希釈タイプ使用の場合は、糊：水=10：6～7にエチレン酢ビ系ボンドを10～20%程度混合してください。また、塗布量は多めにしてください。
- ・エチレン酢ビ系のボンドを混合しますと、接着剤の乾燥が早まりアイハギの発生時間も早くなりますので注意が必要です。
- ・濃度の薄い接着剤は、糊が吸い込まれてしまい接着力が落ちる他に、壁紙を余計に延ばして後の目開きの原因にもなります。

- ・粘りの強い接着剤を使用すると、糊溜まりの原因になりやすいので注意してください。
- ・壁紙表面に接着剤をつけたまま放置しますと変色の原因になりますので、ただちに拭き取るようにしてください。

■養生・オープンタイム

- ・接着剤塗布後は、うませ時間を5～10程度、施工可能時間は60分以内を目安に作業を進めてください。
- ・タタミジワを防ぐため、糊付け後は必ず大きくたたんで上積みは避けてください。

■なで付け・ジョイント

- ・自然素材の特性（緯糸がランダム）のため柄合わせができません。目地取り施工またはジョイナーをおすすめします。
- ・なで付けの際はやわらかな刷毛を、ローラー掛けの際はウレタン製のものを使用してください。あまり強く擦るとテカリやキズが生じる場合があります。
- ・ジョイント部分のなで付けは横方向には行なわないようにしてください。材料を引っ張ってしまうことになり目開きの原因になります。
- ・ジョイントは突き付け施工をおすすめしますが、重ね裁ち（ダブルカット）を行う場合は、下地まで切り込まないようにしてください。目開きの原因となります。（壁紙と下地の間に下敷きを入れる、和紙テープを貼り込む、といった注意が重ね裁ちの場合は必要です。）
- ・ジョイントが目立ちやすい傾向にありますので、カッターは薄刃のものを使用し、こまめに替えて常に鋭利な状態でお使いください。
- ・粘着テープの使用は、テープを剥がした際に壁紙表面を破損するおそれがありますので、なるべく使用は控えるようにしてください。
- ・壁紙表面に接着剤等が付着した場合は、直ちにきれいな水で拭き取ってください。変色の原因になります。また、商品表面に水分がつかないようにご配慮ください。商品がカールしたりほつれたりする場合があります。
- ・自然素材のため、色柄やジョイント部に色差が生じる場合があります。あらかじめご了承ください。

■施工後

- ・施工後は、外気や冷暖房などによる急激な室温の変化を避けるようにしてください。目開きやハガレ等の原因になります。